

ツキノワグマって？

日光国立公園にもともと生息する“クマ”は、ツキノワグマです。
“クマが出る”ではなく、“クマがいる”国立公園に入る場合には、クマの
ことを知り、ヒトのためにも、クマのためにも、ヒトが注意をしましょう。

基本的な性質や生態

●おとなしい性格

ただし、「子連れ」「人の接近に気づかず突発的に遭遇した場合」は、
子グマや自分を守るために攻撃行動をとるということがあります。

●食物の9割以上は植物

{ 7～9月：沢沿いの草本、葉、芽、イチゴ類、木の実、昆虫など
{ 9～11月：木の実（ドングリなど） 他、動物の死体など

●木登りが得意（そのため、鋭いツメと強い力をもつ）

●人より速く走る（時速40km以上）

●音やにおいに敏感

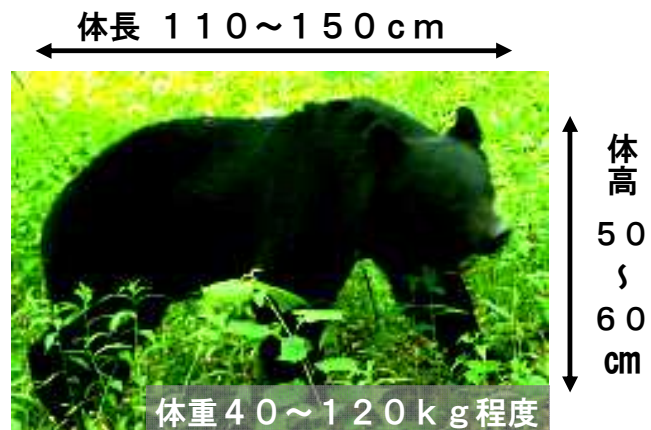
●視力はあまりよくない

●朝夕の薄暗い時間帯は、採食行動が活発

●霧、川沿い、山すそではクマの注意力は散漫になる



※ 草が繁茂している時期は、クマも
ヒトも見えにくいので要注意！



ツキノワグマに関する情報発信・目撃情報の受付

◆日光湯元ビジターセンター（0288-62-2321）

◆赤沼自然情報センター（0288-55-0880）